

議案第 9 号

令和 6 年度に北九州市立小学校等で使用する教科用図書の採択について

令和 6 年度に北九州市立小学校等で使用する教科用図書を次のとおり定める。

令和 5 年 7 月 6 日提出

北九州市教育委員会

教育長 田島 裕美

提案理由 令和 6 年度に北九州市立小学校等で使用する教科用図書の採択について、北九州市立小中学校等管理規則第 10 条第 1 項及び第 11 条第 1 項の規定に基づき、この案を提出する。

令和6年度に北九州市立小学校等で使用する教科用図書の採択について(案)

令和6年度使用小学校用教科用図書	
種 目	発 行 者
国 語	光 村 図 書 出 版
書 写	光 村 図 書 出 版
社 会	教 育 出 版
地 図	帝 国 書 院
算 数	啓 林 館
理 科	大 日 本 図 書
生 活	東 京 書 籍
音 楽	教 育 芸 術 社
図画工作	開 隆 堂 出 版
家 庭	東 京 書 籍
保 健	光 文 書 院
英 語	光 村 図 書 出 版
道 徳	日 本 文 教 出 版

議案第9号についての資料

資料1

「令和6年度に北九州市立小学校等で使用する教科用図書の採択の経過」

資料2

「令和6年度使用小学校教科用図書採択理由」

資料3

「北九州市立小中学校等管理規則」【抜粋】

資料4

「2024年度（令和6年度）に北九州市立義務教育諸学校において
使用する教科用図書採択方針」

資料5

「令和6年度使用小学校教科用図書 選定会議調査報告書」
（発行者別概要説明書・発行者別調査研究報告書）

資料6

「教科書展示会における来会者数及び市民の意見数、市民の意見」

令和6年度に北九州市立小学校等で使用する教科用図書の採択の経過

月 日	内 容
5月11日(木) 【教育委員会会議】	○ 協議 ・令和6年度使用教科用図書の採択基準及び選定資料、採択方針について
5月22日(月)	○ 採択方針を各学校へ通達
6月 2日(金)	○ 第一回教科用図書選定会議(専門調査研究部会・総括部会)
6月19日(月) 21日(水)	○ 第二回教科用図書選定会議(専門調査研究部会)
6月29日(木) 【教育委員会会議】	○ 協議 ・令和6年度使用教科用図書の概要及び採択事務の進捗状況について
6月14日(水) ～7月3日(月)	○ 教科用図書展示会
7月 3日(月)	○ 第二回教科用図書選定会議(総括部会)
7月 6日(木) 【教育委員会会議】	○ 議案 ・令和6年度に北九州市立小学校等で使用する教科用図書の採択について

【国 語】 光村図書出版

- 見通しをもって学びを深めていくことができるように、巻頭の「国語の学びを見わたそう」では、「学び方」が示されている。この学び方は、どの単元でも生かせるように構成されている。また、「〇年生で学ぶこと」では、前学年で学んできたことが具体的に示されており、これまでの学びを確かめながら、1年間の学習を見通すことができるように工夫されている。
- 「見通しをもとう」では、一連の学習の流れが示されている。学習や生活の中で感じた児童の「問い」を出発点として、段階に沿って学習が進められるようになっており、「ふり返ろう」では視点を明確にして自らの学習を振り返り、学びを自覚することができるようになっている。また、選択課題や考えるための観点が複数示されており、児童の興味や実態に沿って学習が進められるようになっている。
- 「じょうほう」のページが、関連する単元の前後に設定されており、学習や生活に生かすことができる情報活用力を育むことができるように工夫されている。また、巻末の「図を使って考えよう」では、思考ツールを使って情報を整理する方法や整理した情報を伝えるときの言葉が示されており、実生活でも生かしていくことができるように工夫されている。
- 児童の学びをより確かなものにするためのデジタルコンテンツが充実している。題材への興味・関心を高め、一人一人が「問い」をもって学習に入ることができるような動画や、教材文の理解をより深めるために必要な写真・動画などがあり、学びの質を高めることができるようになっている。また、二次元コードの上に、「写真」「動画」など、データの種類が分かるように示されており、学習の中でもより使いやすいように工夫されている。

【書 写】 光村図書出版

- 一時間の授業で学ぶことが明確になるように、教材ごとの目標が一つに示されている。「考えよう」では、文字を観察したり、比較したりする活動が設定されている。この活動を通して、児童は文字を整えて正しく書くポイントを見付け、それを意識しながら、文字を書くことができる。
- 単元ごとに、「ねらい」「学習の進め方(考えよう・確かめよう・生かそう)」「たいせつ」が明示されている。児童に思考させたい「考えよう」や「大切」を大きく取り上げ、その他は小さくまとめるなど、ねらいを達成させるための情報が精選されている。また、ページ内のレイアウトが全体を通して統一されている。児童にはわかりやすく、教師には教えやすい紙面になっている。
- 単元ごとの「生かそう」では、手本で書いた文字だけでなく、ねらいに沿って他の文字を練習することで生活の中の硬筆に広げることができる。各学年の「書写を広げたい」は、学年の発達段階に応じて、国語や他教科、日常生活に関わる教材が豊富である。

【社 会】教育出版

- 4年生「わたしたちの県のまちづくり」では、福岡県内の特色ある地域として東峰村と太宰府市、岡垣町が取り上げられている。また、5年生「環境をともに守る」では北九州市が10ページにわたり取り上げられている。このように、地域教材が多く盛り込まれている点から、本市児童の地域社会に対する誇りと愛情を養うことにつながると考える。
- 「つかむ・調べる・まとめる」という学習の流れの中で、問題解決的な学び方を重視した内容になっている。見方・考え方の例が、單元ごとにキャラクターの吹き出しで示されている。見開き1ページの紙面構成や吹き出しなどで、児童は、どのような学び方をすればよいか、教師はどのような授業を展開すればよいかを具体的につかむことができる。
- 学習活動の場面では、キャラクターのイラストで、性や国籍の違い、障害の有無に関わらず多様な子どもが互いに協力し合いながら取り組む様子が描写されており、互いの違いを尊重し合える内容になっている。

【地 図】帝国書院

- 読み取りやすい要素を精選した地図と、詳しい地図の両方が掲載され、学年や児童の発達の段階によって、使い分けることができる工夫がされているため、活用しやすい構成となっている。また、「3年生の学習」では、初めて地図帳を扱う3年生にとって扱いやすい内容となっている。
- 「地図マスターへの道」では、児童に興味・関心をもたせ、地図帳を活用することで、自発的な学習を促すことができるように配慮されている。また、全体的に系統性のある構成となっており、資料と地図を関連付けて読み取らせる配慮がされているなど、本市の児童に必要な、資料活用能力の育成ができるような工夫が見られる。
- 3年生からの外国語活動でも使用できる表記や、音楽の舞台に関する記載、SDGsの視点での資料等があり、他教科との関連が図りやすい。また、「生まれ！世界の子どもたち」では、世界各国の概要や特色が分かりやすく解説されており、世界にも関心をもたせる工夫が見られる。中学校での学習につなげることもでき、世界地理への関心が高められるようになっている。
- 二次元コードの内容では、地形や土地の使われ方・交通の様子など、分野ごとに地図が見られ、教員も指導する際に便利なツールとなっている。また、等高線や地球儀の使い方などの理解が難しい内容は、アニメーションでの解説が行われ、本市の児童が理解しやすい工夫も見られる。二次元コードの隣にはリンク先の内容に関する記載があり、全ての児童にとって分かりやすい。

【算 数】 啓林館

- 問題解決的な学習ができ、児童が目的意識をもって主体的に学習を進めることができるように、毎時間の「めあて」とそれに対応した「まとめ」の記載がある。また、数学的な見方・考え方が明記されているので、系統的な学習であることを教師・児童ともに意識できるようになっている。さらに、1単位時間の区切りが明確で、学習のスタートとゴール及び授業の流れが分かりやすい。
- 基礎的・基本的な内容の定着を目指す点において、「面積」では、学習指導要領で示されている求積方法に絞って掲載することで、考えたり説明したりする活動時間や練習問題に取り組む時間を確保している。本市で指導するあらゆる経験年数の教師も学習する児童も実態に合わせて取り組むことができる。
- 児童がつまずきやすい学習への対応として、「わり算の筆算」や「割合」では、系統性を考え、統一した関係図を使って数量関係を把握したり説明したりできるようにしている。また、ページ数を増やしたり、二次元コード読み取りによるアニメーションを掲載したりして丁寧に取り扱っている。巻末には、図のかき方、算数で使う考え方、説明の仕方があり、これまでに学習したことを振り返る際や自主学習の際に役に立つ。
- GIGA 端末の活用において、「わり算の筆算」では二次元コードの読み取りにより、計算の手順をアニメーションで確かめることができるようになっている。「平行四辺形の敷き詰め」では、端末上で図形を敷き詰め図形を見出すことができる。二次元コードが大きく、本市端末で読み取りやすく、スムーズに活動を展開できる。

【理 科】 大日本図書

- 「理科の学び方」では、問題解決の過程だけでなく、問題解決に必要な力を分かりやすく示しているので子ども自身で学びを進めやすい。また、観察カードの見本や観察のポイントが示されている点は、個人の学びを促すうえで有効である。予想、計画、考察の場面で子どもたちが話し合う様子が描かれているので、話し合いを位置付けることの必要性やよさが伝わってくる。
- 単元の最初に見開きで左右の写真を比べることにより、子ども自身が課題をもって取り組めるよう工夫がなされている。各所にある二次元コードには動画など必要なコンテンツが充実している。また、単元末問題や全国学力・学習状況調査を意識したチャレンジ問題では、単元で学習した知識・技能の確認や活用が図られ、本市の課題である、知識及び技能の定着に有効である。
- 実験器具の使い方については、巻末にまとめて詳しく書かれており、異なる単元においても繰り返し確認することができるようになっており、技能の習得に有効である。また、二次元コードで、教師も事前に実験における流れの確認や事故防止の注意事項などを再確認することができる。
- 4年生の単元「季節と生物」での季節の分け方が北九州市の気候にあっている。特に、「春のはじまりと春」ではサクラ、「夏と夏の終わり」では、ツルレイシが取り扱われており、北九州の地域性に合っている。また、5年生の「台風の学習」が夏休み前にあり、現在の気象状況にあっている。

【生 活】東京書籍

- 本市の児童の課題の一つとして、「思考力・判断力・表現力等の育成」があり、生活科ではその基礎を身に付ける必要がある。各ページの導入においては、活動に向かう問いと、それに関連するマークがあり、「～したいな。」「どんな～がいいのかな。」等の呼びかけで、対象への自分の思いや気付きを生み出し、問題を解決していく学習につながっている。
- 見出された思いや願いから、実際に活動する・考える・表現する等の児童の学びが、見開き1ページで左から右へ流れるように示され、深い学びへと導くような構成の工夫がある。また、振り返り等に向けた多様な表現方法を掲載するとともに、学習内容や発達の段階に合わせた方法・内容を例示し、2年間で徐々に活動の質が高まるように配慮されている。
- 身近な生活における人々、社会および自然等をより詳しく捉えることができるように、巻末の図鑑では、紙面で見るとよさを生かして実物大の生き物を掲載するなど内容を充実させている。あわせて、QR コンテンツによるデジタル図鑑では、200種類以上の生き物を掲載し、児童が様々な興味・関心に応じて調べることができるようになっている。
- 今後のICTの日常的な活用を見据え、発達の段階を考慮したうえで、生活科における情報活用能力を体系化している。これを基に、児童による活動の記録や、話し合いや振り返り、発表等の各場面におけるICT機器の具体的な活用方法を、各ページにおいてイラスト等で例示している。ICT活用を含めた環境構成の例は、教員の授業づくりのヒントにもなる。

【音 楽】教育芸術社

- 各教材に「見つける」「考える」「歌う」「つくる」というような学習の流れとともに、キャラクターの吹き出しにその時間のポイントとなる音楽的な見方・考え方が示されているため、児童が見通しをもって学習に取り組むことができる。また、若年教員など音楽の専門性があまり高くない教員でも、見通しをもって指導を行うことができると思われる。
- リコーダーの学習では、音名や運指が各教材に示されている。また、それらが視覚的に見やすく配置されているため、児童が主体的に学習に取り組むことができる。さらに、教材は段階的に学ぶことができるよう配慮された構成となっているため、児童が自らの技能に応じて内容を選択しながら主体的に学習に取り組むことができる。
- 音楽づくりのデジタルコンテンツでは、音符・休符の配置や、演奏する楽器を選択し、実際に音を出して試すなど、タッチ操作で創作活動ができる。この仕様により、楽譜を書くことや楽器を演奏することが苦手な児童でも、スムーズに音楽づくりをすることができ、自らの思いや意図を表現することに注力して、楽しみながら活動することができると思われる。
- 音楽表現の工夫に関わる題材では、キャラクターが思いを発言したり、ポイントとなる音楽的な見方・考え方をもとに考えを深める問いを発したりしている。また、キャラクター同士で対話する場面が示されている。発想することを苦手と感じている児童でも、これらをヒントとして、自らの感じたことに気付き、思いや意図を深めることができると思われる。

【図画工作】開隆堂出版

- 児童のいきいきとした表情が多く掲載されており、本市の児童が興味・関心をもち「やってみたい！」といった意欲とともに、主体的な活動につなげることができる。また、全学年で、1年間の学習を見通せる目次を掲載し、学年全体の活動の内容と目標が観点別に分類して構成されているため、本市の児童が見通しをもって活動することができる。
- 育成すべき資質・能力を、分かりやすい「学習のめあて」と観点別のキャラクターで示しており、学習のポイントや造形的な見方・考え方を楽しくアドバイスするとともに、題材ごとに大切にする中心的なめあてが強調されているため、本市の児童が活動に取り組みやすく、図画工作で培うべき資質・能力を確実に身に付けることができる。
- 児童の意識や活動範囲について、自分から他者、社会に広がっていくことを考えた児童の発達段階への配慮がある。巻末では「つながる造形」「みんなのギャラリー」などが掲載されており、本市の児童が造形的な見方・考え方を働かせ生活や社会の中の形や色などと豊かに関わることができる。また、幼児期や中学校への接続ページが設定され、キャリア教育へも対応している。
- 題材ごとに QR コードから動画や写真で学習内容や道具の使い方などを参照でき、本市の児童が興味や関心をもち学習活動に取り組むことができる。また、「アイデアシート」「かんしょうシート」「ふりかえりシート」をダウンロードして活用でき、発想や構想を広げたり学習を振り返ったりするなど、主体的・対話的で深い学びにつなげることができる。

【家庭】東京書籍

- 巻頭の「成長の記録」は、学習後に家庭で実践したいことを「次へのチャレンジ」として記入できるようになっている。見開き1ページで全題材の家庭で実践したいことが把握でき、家庭での実践につなげる意識を高めることができる。また、夏休みなどの長期休業の時期に、「生活の課題と実践」のページを設定し、児童が主体的に取り組めるように工夫されている。
- 「いつも確かめよう」を巻頭と巻末に設定している。巻頭は手の洗い方や地震が起こった時の対処法などの安全・衛生面について、巻末は調理や製作実習などの技能面についてと区別され、それぞれ写真やイラストで分かりやすく掲載されている。開きやすい巻頭と巻末にまとめて掲載され、いつも確認することで基礎的・基本的な知識や技能の定着につながる。
- 全題材において3つのステップで学習が展開され、教師も児童も学習の見通しをもって主体的に学習を進めることができる。また、ステップ1は思考ツールとして活用できるトライシート、2は実習を円滑に進める基礎技能動画、3は学習をまとめるワークシートなど、段階に適した QR コンテンツが活用できるように配慮されている。

【保 健】 光文書院

- 「見つけよう」「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」などの、5つのステップで構成されており、子どもが見通しをもちやすく、自主的・自発的な学習を促すような工夫がある。そのため、自分の健康課題を見付け、その解決に向けて自ら考える力を育成しやすい。
- 「話し合おう」や「学んだことを生かそう」では、調べたことや、考えたことについて、伝えたり、話し合ったりする活動を取り入れており、思考し判断したことを表現することを通して、考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。
- 1単位時間で学習する内容が、見開き1ページで分かりやすくまとめられており、学習の流れが一目でわかる紙面構成になっている。また、大切な言葉を太字で強調するなど、児童が学びやすいと感じる工夫がある。各単元末に「学習のまとめ」が設定されており、確実な理解を図る工夫がある。
- 全般的にイラスト類が鮮明で明確であり、児童が学習活動のイメージをもちやすくなるように工夫されている。また、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないよう配慮されている。資料が学習内容に対して効果的に掲載されている。二次元コードが掲載されており、補助資料や動画や画像、外部リンクなどの学びを助ける工夫がある。

【英 語】 光村図書出版

- 各活動に、目的・場面・状況が記されており、外国語で求められている思考力を働かせることができる。特に、Let's try では、学習する語句や表現を使い、予想してから質問したり、話す目的を考えたりしながら、伝え合うようになっている。さらにLet's tryの活動を生かして、別の人に伝えたり、詳しく尋ねたりする活動が+one として設定され、コミュニケーションを図る資質・能力の基礎を育む構成となっている。
- 本市の児童は、外国語科等で学んだことをアウトプットする場として北九州英語村体験学習等を経験している。その際、多くの児童が「外国の先生と英語で話して楽しかった」などの感想を述べている一方で、「もっと言いたいことを伝えなかった」「言いたいけど言い方がわからず、困った」などの意見があり、より自分の考えや気持ちを伝える経験を増やしていく必要がある。対話場面で自分の考えや気持ちを伝える経験を重ねられるように工夫されている点が適している。
- 単元冒頭の見開きで、各ユニットでできるようになることが明確に示されているとともに、Hop! → Step1 → Step2 → Jump!と言語活動のゴールまでの流れが分かるようになっているため、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるような工夫がある。
- 巻頭では各学年の5領域の到達目標を示すとともに、ユニットごとに重点的に扱う領域を分かりやすく示しているため、児童は学習の目標が明確になる。また、ユニット最後の「ふりかえろう」の欄では、重点化された領域で工夫したことや学習の進め方を調整した点等を記入することで自己評価し、巻頭の表とリンクさせている。巻頭の表はCAN-DOリストとなり、中学校の英語科につながっている。

【道 徳】 日本文教出版

- 全ての教材において、教材名の横に、リード文や登場人物の紹介が掲載されている点、また、全ての教材に二次元コードの掲載があり、その教材の朗読や関連動画が選択できるデジタルコンテンツが充実している点から、本市の児童にとって、教材理解がしやすいものとなっている。
- 全ての教材末に「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」という視点の発問の掲載があり、1単位時間の中で、自己を見つめ、自己の生き方について考える発問が設定されている。児童の思考を深めると共に、若年教師にとって授業展開をイメージしやすい構成になっている。
- 児童の考えを深める「ぐっと深める」というページが、各学年5～6教材に関連して設定されており、役割演技や言語活動などを参考例として提示している。発達段階に応じた多様な学び方で、自己の生き方についての考えを深めることができるようになっている。
- 別冊「道徳ノート」は、これまで記載されていた発問例を掲載せず、絵や図、文章などを自由に書き込める記述欄のみに変更されている。ノートやワークシートは、児童が思いや考えをまとめたり、友達と交流するときの話のきっかけになったりするものであり、学びの足跡にもなる。

○ 北九州市立小中学校等管理規則【抜粋】

(教材の定義)

第10条 この規則で「教材」とは次に掲げるものをいう。

- (1) 文部科学大臣の検定を経た教科用図書、文部科学省が著作の名義を有する教科用図書及び学校教育法(昭和22年法律第26号)附則第9条に規定する教科用図書(以下これらを「教科用図書」という。)
- (2) 学校の教育活動のために使用する教科用図書以外の図書その他の教材(以下「教科用図書以外の教材」という。)

(教材の選定)

第11条 教科用図書の採択は、教育委員会が行う。

2 教科用図書以外の教材の選定は別に定める基準により校長が行う。

令和5年5月11日

北九州市教育委員会

2024 年度(令和6年度)に北九州市立義務教育諸学校に
おいて使用する教科用図書採択方針

- 1 北九州市教育委員会は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」並びに関係諸法規の定めるところに従い、小学校において使用する教科用図書及び小学校と中学校の特別支援学級並びに特別支援学校において使用する教科用図書について、公正を確保し、適正を期して採択する。
- 2 北九州市教育委員会事務局に教科用図書選定会議を設け、その報告を基に採択を行う。採択に当たっては、北九州市の地域的特性と児童生徒の実態等を考慮する。
- 3 教科用図書採択に関しては、採択方針をあらかじめ公表するとともに、採択に関する情報を、採択終了後に公開するなど、開かれた採択に努める。

資料6

教科書展示会における来会者数及び市民の意見数

展示会場	来会者数	市民の意見数		
門司区 (門司総合特別支援学校)	40	全 般 国 語 書 写 社 会 地 図 算 数 理 科 生 活 音 楽 図 工 家 庭 保 健 英 語 道 徳	8 11 0 74 0 8 1 4 2 1 5 6 7 53	
小倉北区 (子ども図書館)	87			
八幡西区 (教育センター)	95			
小計	222			
教科書センター	来校者数			
小倉南区 (北方小学校)	17			
若松区 (小石小学校)	4			
八幡東区 (ひびきが丘小学校)	5			
戸畑区 (中原小学校)	7			
小計	33			
合計	255	180		

全般	市民の意見
1	大きい教科書だとどの教科も持ち運びにくい？
2	文部科学省 未来を担う子どもたちを育てるための教科書なのに、最後に「この教科書はこれからの日本を担う皆さんへ期待を込め税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」憲法でうたっている教育の無償化は当たり前、恩きせがましい記述はやめてください。
3	どの教科書にも裏表紙に「この教科書はこれからの日本を担う皆さんへの期待を込め税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」と書き込まれているのは、おしつけというか上から目線を感じます。
4	本が重たいですね！印刷を鮮明にすると重たくなりますね！
5	教科書展示会についてですが、今回は19時までの展示(子ども図書館)がなされるようになり助かっています。市民にとってよりよい展示に配慮されていると思います。提出された市民の意見は、できるだけ色々な方の目に触れ、読まれるように今後改善されていくよう願います。
6	全体的にケースから取り出しが大変出すのも入れるのも大変です。改善してもらいたい、です。ゆっくり見られて良かったです。社会、国語、道徳も見ましたが、12時を過ぎてしまいました。算数のみ記入させてもらいました。再度訪問見させてもらいたいです。ありがとうございました。
7	昔に比べ教科書の大きさも大きく変化し、教科書と別に副読本とあり、子供たちの体に重圧を感じる。育ちざかりの子達の事も考えてほしい。
8	先ず最初に気になりましたのは、音楽です。教育文芸社、教育出版の両方に ・悦びの歌 ・漕げよマイケル(この曲の背景をどのように子供たちに説明するのか・・・) ・we wish your merry Christmas ・クリスマスソングを歌おう 等々 キリスト教の曲が採用されています。先にも書きました通り、クリスマスを楽しむ人が多くいても逆に嫌悪を感じる人もいます。これらの歌を実際に授業で流し、歌わせるのであれば私の家族にとっては苦痛の時間でしかありません。クリスマスはキリスト教の最大の聖日であり、だれもが楽しむものといった安易な考えを即刻辞めて頂き、対応をご検討検討願います。 私が子供の頃、先生にジングルベルを「歌いたくない」ということができず、泣きながら仏様に謝りながら帰ったことを思い出します。娘たちにはこのような思いをさせたくないと感じています。採用に至っては、他の内容に差し替える等の対応をお願いします。 道徳 ・マザーテレサのような宗教家の善行を取り上げるのは大いに問題があります。善行自体は素晴らしいけれども、その善行の発露は宗教心である事が多いからです。それを学習で取り上げる事によってその宗教の広告となります。実際彼女はカトリックの広告塔でした。それらに該当しない者を選んでほしいと思います。他者を助ける気持ちをはぐくむのであれば、有名人である必要はありません。 (マザーテレサについてはほかにも教科書にはふさわしくない理由があります。同封した書類に書かれていますのでご一読いただければと思います) 他には、教科書内に出てくる登場人物の神仏に対する感謝のセリフなど、音読する事はかなりの苦痛となります。 特定の宗教をたたえるものでなくても、国語の ・ごんぎつね・かさじぞう・いなばの白兔など、 神様、念仏、地藏などのフレーズ、本人が不快と感じる内容にについては音読させない等の配慮をお願いします。 今まで書いてきた内容は宗教的ハラスメントにつながります。他の内容への差し替え等を柔軟に対応して頂きたいと思います。それにしても基礎となる教科書ですので、より熟考頂き、選定、今後の教科書の作成をお願いします。

そして、教科書に臆することなく登場するキリスト教ですが、多くの人が思うような美しい教義ではありません。聖書の内容は、異教徒には死、神による暴力と差別に満ちています。決して教育にふさわしい内容ではありません。

近年のキリスト教聖職者による児童性加害の問題をご存知でしょうか。欧米にて、おびただしい人数の聖職者たちが信徒の子供たちに性加害してきたこと、そしてそれが教団によって隠ぺいされてきた事が明るみに出て大きな批判を浴びています。聖職者が子供たちの信仰心を利用して思うままにした、胸の奥から怒りがこみ上げます。この問題も、アメリカ大陸での先住民の大虐殺をはじめとする歴史上の多くの暴力(同封の文書をご参照ください)も、大元の聖書が人を導いたための悲劇です。

私達日本人には、戦後GHQによるキリスト教布教のための教育がされてきました。戦闘機の研究所には国際キリスト教大学が立てられ、北九州では明治学園はカトリックの学校になりました。公立学校でも楽しいクリスマス、美しいキリスト教といったイメージの教育を受けてきました。私自身学生当時、社会科の授業で、豊臣秀吉や、徳川家康について、キリスト教を不当に弾圧する国の指導者といった印象を受けました。大河ドラマ等でも同じです。しかし、そこにはキリスト教が行ってきた暴力や差別は書かれていませんでした。宣教師とキリシタン大名のよって50万人もの日本人が南米や欧州に奴隷として送られ、秀吉は欧州視察団より、日本の若い女子たちが裸にされ欧州で売られていると報告を受け激高したそうです。このような事実を私は歴史で教わることはありませんでした。当時の日本のリーダーは国を守るために禁教としたということです。私達はキリスト教について悪い事実を隠された教育を受けてきたと感じました。

8 先に書きました児童性加害が判明したのは、近年の話ですが、日本のマスコミに大きく取り上げられませんでした。欧米でバチカンが責任を問われる中、日本はのんきに広島に法王を招待しました。国際社会にはどのように映ったのでしょうか。現在も私達が得ている情報には隠されているものがあるのではないのでしょうか。

仏教のくくりで、小乗、大乘とあります。小乗は自分だけを救う教え、大乘は自分だけでなく他者や多くの人々を救うための教えです。法華経は唯一、真実大乘と言われます。そして、大乘仏教が根付いている国は日本しかありません。他者を思いあう心は日本人が仏教を通してはぐくまれたものと思います。

かといって、公立の学校で宗教の優劣を示すことは難しいと思います。しかし、現行の教科書の内容では、多くの宗教的ハラスメントを生み、また、キリスト教等の特定の宗教の布教を助ける内容となっていると感じました。誰にとっても宗教ハラスメントとならないように、宗教色の排除を厳密に行って頂けるようお願いいたします。それは、宗教問題に背を向けてはできないことです。どうぞ、この意見に耳を傾け、取り組んでくださいますよう、お願いいたします。

自分と他者の命を尊び、日本を平和で健全な国に導く子供たちの成長を心から望みます。そして、私の子供たちが楽しく学校に通えることを。

私の在籍する本門立正宗の師が娘の入学に際して書いてくださいました小学校へのお願いの文書と、マスコミへ提言された文書を参考文書として同封いたしますので、併せて読んでいただきますようお願いいたします。

国語	市民の意見
1	東京書籍(新しい国語) 各学年ごとに適切な内容で現在の問題も取り上げられていると思った。新しい国語六では、「漢文に親しもう」と載っていたので小学生から教えるようになったのかと驚きました。私たちの年代は高2で漢文が始まったので嫌いになった経験があります。お茶を習っていますがお軸の漢文が読めないときがあります。
2	国語の教科書を比較してみて、特に気になったのが、東京書籍の5、6年生のもの。長めの読みものの比率がどんどん少なくなり、情報のまとめ方、ディスカッションの仕事、プレゼンの仕方、まるでビジネス書である。その学年にあった難しさの文章にきちんと取り組まないと読解力は育たない。そもそも読解力なくて文章を組み立てて相手に伝える技術ばかり教えられてどうしろというのだろうか？
3	国語、社会、教育出版と東京書籍、光村図書を見ました。いずれも5、6年は重いランドセルが重くなりますね。国語古典と言わなければならないものと、そうでないものとありました。教科書で読んだ文章、小説、短歌など大人になって、覚えていたりするので優れた作品を取り上げてもらいたい。
4	4年 国語 上 東京書籍 「広告を読み比べよう」体温計について2通りの広告を載せているが、2ページずつなので比べにくい。見開きにしたらわかりやすい。
5	6年 国語 3社とも工夫は見られますが、卒業するにあたってのコーナーがくどすぎるように思います。 特に東京書籍は振り返ろう。中学へつなごうが、押し付けのように感じます。 光村も中学へつなげよう「こんな力がついたよ。」「こんなときに生かそう」書くコーナーまである。 教育出版の「津田梅子、未来をきりひらく」を取り上げてほしい。 光村「人間は他の生物と何がちがうのか」がいい。 「平和のとりでを築く」がいい。 教育出版は、5、6年生が上下になっているが、東書と光村は一冊なので重すぎる。
6	4年 国語「ごんぎつね」 挿絵は、物語の想像を深めることができます。 光村は、あべ弘士さん、少し絵がきつすぎて、このお話にはふさわしくないと思います。 教育出版は、牧野千穂さん、ひがん花の赤が強すぎる。最後の銃を持つ兵十の横のとうからしの赤が強すぎるし、銃をかまえているところよりうったあとの煙が出ているところの方がよいと思います。 東京書籍は、黒井健さん 3者の中では一番いい。
7	光村図書、国語、四下はばたき P14 新美南吉作のごんぎつねの絵が作者のきつねの優しさ、淋しさ、悲しさが伝わりにくい。絵の濃さなどが作と合わない。 あべ弘士さんは好きだが、子ども好き、うけるような絵にしないでほしいと思う。
8	何の理由もなく、六年生の国語の教科書を手に取りました。最初に東京書籍の「さなぎたちの教室」を読み、違和感を覚えました。いも虫を飼うところです。いも虫は種類によって食べる葉が全然違います。例えば、アゲハの幼虫は柑橘系の葉。ツマグロヒョウモンはすみれの葉です。昆虫が好きな子供はここに引っかかると思います。題材を選ぶとき、もう少し深く読み取って欲しいと思いました。 目次を見るとおしなべて国語と言っても、社会や理科の分野に入り込んだ題材が多い。文学といえるものは俳句のみである。それも全く入門編で感動を覚えるものではない。子供たちはこれで面白いと思うのだろうか？子供の心を揺さぶるような文学作品が欲しい。

9	全体的に特に一年生は、この内容を理解できるのか、進め方のスピード等もありますが、家庭でのフォローもしっかりないと難しいのではと思いました。
10	教育出版、小学四年 上 一つの花 戦争の激しかったころのことが、4年生の子供達にどのくらい理解できているのか？ ・その上で一つだけちょうだい。 ・コスモスを渡すお父さんの意図。 ・コスモスのトンネルをくぐる、大きくなったゆみこさん。
11	教科書内に出てくる登場人物の神仏に対する感謝のセリフなど、音読する事はかなりの苦痛となります。 特定の宗教をたたえるものでなくても、国語の ・ごんぎつね・かさじぞう・いなばの白兔など、神様、念仏、地藏などのフレーズ、本人が不快と感じる内容においては音読させない等の配慮をお願いします。

社会	市民の意見
1	○教育出版…わかりやすい記述。写真や資料など見やすく子どもの学習意欲がわきやすい。朝鮮併合し「植民地」にしたなど、加害の歴史も伝えようとしてよい。 ○東京出版…東南アジアの被害や抵抗運動を記述していない。歴史の被害も加害も包み隠さず学んでこそアジアや世界での平和をつくりだす大人になれることを教科書会社はよく考えてほしい。全体的に読みにくいかわりにくい。 ○全体として…沖縄戦でガマの中で自決に追い込まれたのに日本軍が関与していた事実も子どもに伝えるべき。
2	社会科教科書として引き続き教育出版を採用してほしいです。理由は、以下の諸点です。 1 6年生では憲法で始まって憲法で終わる構成になっている。憲法の学びはとても大切です。小学校最後の社会科の学びとして大事にしてほしいです。 2 日本国憲法の三つの柱を明治(P14～32)「もう戦争はしない」という小見出しで新しい国づくりについて述べている。(P222)憲法第9条の条文がある(P22)のもよい。 3 基本的人権について第11条の条文を示し、2ページ(P20～21)にわたり記述している。 具体的な課題も挙げている。ハンセン病と人権侵害も先住民族の人権、障害者差別解消法など。
3	社会科教科書としては引き続き 教育出版を使ってほしいです 福岡県が多く取り上げられており 北九州市の公害克服に焦点を当てている。
4	領土問題はかつての日本の侵略戦争と深くかかわっているので 相手国の主張を教えず 一方的立場を述べるのは どうかと思うが (P17)本文の「課題の平和的な解決に向けて 粘り強く努力を続けていく必要があります」とまとめているいい。また同じページの子どもの吹き出しの言葉も大事にしたい。「… 隣の国々とは 仲良くして行きたいね」とある。
5	教育出版 5年の 領土についての記述ですが 北方領土 竹島尖閣諸島の問題を紹介しています。とてもいいと思ったのは女の子の吹き出しで「国にとって領土はとても大事だけれど となりの国々とはなかよくして行きたいね」と言っているところです。そして、その「課題には平和な解決に向けて、粘り強く努力を続けていく必要があります」と記述されています。小学生の社会科から隣国との関係について粘り強い平和的な解決を求め続けていく姿勢が書かれているのはウクライナ戦争もあり大切な教育ではないかと思います。
6	北九州市が選定している 社会科の教育出版は 憲法改正では、賛成 反対 の両論を紹介していたり 9条が 掲載されており 平和主義の原則や 非核三原則も記載されています。外国との間に 問題が起こっても決して戦争をしないこと そのために戦力(武力) 持たないことを定めています。また、核兵器を持たない作らない持ち込ませない の記述もあり 歴史的に戦後の歩みが具体的に述べられていることはとてもいいと思いました。
7	教育出版には、国際協力というところで中村哲さんのアフガニスタンでの取り組みを大きく紹介しています。北九州市の社会科教育で地元戸畑が出身の中村さんのことが広く語られていることに誇りを持ちます。「国境を越えて共に助け合う」ことを具体的に生きた姿で伝えていくことで、次世代の子どもたちが国際人として育っていくのではないかと思います。とてもいい社会科教科書と思いました。
8	教育出版の社会科六年には P209 さくらさんのノートの外覧に「植民地であった朝鮮の人々に対して名前を日本式に変え日本軍の兵士として送り出し国内の労働力不足を補うために朝鮮や中国から多くの人々を連れてきて、高山や厳しい労働にあたらせた」との記述があり、東アジアでの日本の加害が語られているところがとてもいいと思いました。子供たちの未来が明るいものとなるためには小学校の客観的な資料史実に基づく、教育がなされるべきであり隣国との共通基盤に立って育つものであると思う。この大切な点が語られていることは、すばらしいと思う。

9	6年生の社会科では、この国の基本を示した日本国憲法についてしっかりと学習することが大切です。その意味では、3出版社の中で 教育出版の記述が もっとも充実していると思います。P22～23戦争の悲惨さや日本による外国への加害を本文で述べ戦争を二度と繰り返さない決意のもと、日本国憲法が定められたと書いています。さらに戦力不保持と非核三原則を掲げていることも明確にしています。社会科教科書は、とすれば政治情勢に影響されやすいのですが、教育出版は上記のことを明記している唯一の出版社であることを評価します。
10	太平洋戦争 < 教育出版 > 「灯油やゴムなどの資源を求めて東南アジアにも軍隊を送りました。」「占領した地域で日本軍は 住民を労働にあたらせたり 資源や食料を 取り立てたりしました」 < 日本文教出版 > この件には触れていない < 東京書籍 > 日本は、1940年代石油などの資源を得るために東南アジアに軍隊を進めました」とは書かれている。被害を与えた件について書かれていない。
11	自衛隊について < 教育出版 > 平和主義の本文のもとに資料的に「自衛隊の主な役割」を掲載「憲法九条で禁じている戦力にはあたらないため 問題なしとする見方である一方で 憲法に違反している見方もある」両論をのせている。 < 文教 > 平和主義の項目の中に位置付けている < 東京書籍 > 災害時の活動など説明
12	韓国併合 < 教育出版 > ・朝鮮を併合し植民地にしましたと記述 ・朝鮮独立の運動について記述あり < 東京書籍 > 朝鮮を併合しましたとだけ書かれ植民地にしたとは書かれていません。 < 日本文教 > 植民地にした件の記載あり
13	平和憲法について < 教育出版 > 戦争を二度と繰り返さないという決意により 平和主義を掲げていることが示されている。また、核兵器の唯一の被爆国であると明記し、非核三原則に触れている。 < 東京書籍 > 憲法九条についての記載がないがなぜか？ 憲法が作られた点からも記載は不可欠だと思います。
14	南京事件について < 教育出版 > 日本軍は一中略一兵士や多くの人の命を奪いました。隠さずに（日本軍が行ったことを書いている） < 東京書籍 > 多くの朝鮮人や中国人が 殺される事件としか書かれていない。 （誰が殺害したのか触れていない） < 日本文教出版 > 日本軍は多くの人々をうばいましたと明記あり。 ※ 戦争の被害と加害をはっきりさせる必要があります。

15	小学社会5 < 教育出版> 北方領土、竹島などの領土をめぐる問題について、歴史的背景については多少触れてあるものの不十分であり隣接国との関係性について考えていける内容が必要ではと思われる。
16	小学社会5 < 教育出版> 環境問題では北九州市について取り上げられており、この地域に住む子どもたちにとって身近な問題として考え取り組みやすいと考えられます。
17	小学社会5年 < 日本文教出版> 北方領土、竹島などの領土をめぐる問題について歴史的な背景も同時に学習し、どのような問題があるのか隣接国との関係性について考えていく必要があるのではと考えられます。
18	新しい社会5上 < 東京書籍> 北方領土、竹島などの領土問題については、歴史的な背景も同時に学習することが必要で隣接国との関係性に大きな影響を及ぼすのではと考えられます。
19	日本文教出版 6年 P28－29 中村哲さんの功績を讃えている記事は評価できる平和の実現について国際政治の単位としてよい。東京書籍も 6年P103 中村哲さんもNGOで扱っておりよい。6年は歴史と公民、国際を二冊にしている ほうがわかりやすい。
20	【教育出版】 6年歴史(第2次大戦中)の写真がカラーになっていた。人物の表情がよく読み取れる。 5年生 裏表紙に北九州エコタウンの写真 地元の写真があるとうれしい。
21	< 教育出版・日本文教出版・東京書籍> 3社共通にある。 ・5年生の社会科(上)「領土をめぐる問題」の学習は、今、テレビ等で盛んに報道されているが、この問題については、北方領土などかつての日本侵略戦争と深く関わっていると思う。一方的に日本の主張のみの記述になっていて相手方の言い分は全くふれていないので双方をのせてもいいのではないかと感じた。 ・教育出版(6年生)で、オリンピックを美化し、課題点もあったのではないかと。 ・6年生社会科(教出、日本文教、東京書籍)で、君が代についてこの歌が「平和を願う歌」そして教えるのは間違いないだろうか 意味と歴史を正しく教えて欲しい。(天皇の歌だという意味が強い) ・沖縄戦についての「集団自決」については、記述があるのはいいが日本軍の関与についてももっと書くべきではないかと。 ・国際協力の「中村哲」さんについて、ノーベル平和賞にも値すると思う。もっと大きく紹介してほしい(日本文教、東京書籍)。教育出版は取り上げてくれていた。
22	< 日本文教出版社の社会科の教科書(3～6年)> 写真付き、文字が大きい、学習のポイントが明らかにされているなど、改めて社会科の学習をしたいなと思いました。社会の仕組みや歴史をきちんと学ぶことは人として重要なことだと思います。特に歴史については詳しく記述を求めます。
23	教育出版 6年 社会 P190 日本国憲法…… 言論の自由など国民の権利も法律の範囲内で認められました。 日本文教出版 6年 社会 P191 さらに政治は…… 一方政治は政治や社会の仕組みを変えようとする運動や思想を厳しく取り締まる法律(治安維持法)をつくって社会運動をおさえようとしてしました。 教育出版の「法律の範囲内で認められた」とありますが治安維持法もあったことを述べるべきではないでしょうか。
24	日本文教出版 6年 社会 P26 戦争は人々の命をうばい国民のくらしにも大きな被害をもたらします。 東京書籍 P18 くらしの中の平和主義 戦争被害を2社は書いていますが、被害は日本だけではなくアジア…… 他国にも大きな被害を与えています。日本だけが被害を受けたように感じました。

25	教育出版 6年 社会 P19 憲法改正の論議 この改正論議の中身を知ると、日本国憲法の三つの原則 平和主義 二度と戦争をしない・・・意味がなくなっていくのではないかと思います。(憲法9条を変えようとしている)教師がここまで教えてきえるのかどうか? 国民の権利として 憲法改正はありますか、小学生には憲法改正論議は不要と思います。
26	日本文教出版 6年 社会 P15 コラム 国民の義務に対する国の義務 5行目 国は法律を守る義務があるのです。 私は法律にしたがい守るのは国民と思っていました。
27	今使われている教育出版さんの社会には 環境未来都市北九州市が載っていて 子どもたちが学びやすいと感じました。
28	教育出版「小学社会6」 沖縄戦についての記述は、何か納得いかないものです。この戦争に至った経過を考えると「動員」の一言ぐらいは入れて欲しかった。
29	教育出版「小学 社会6」の 歴史の部分 いきなり縄文時代から始まっているのは疑問です。大化の改新の新しい政治の部分で都までの輸送にかかった日数の図表がのせられているのがいいと思います。
30	東京書籍 新編 新しい社会6 歴史編 P128 長く続いた戦争と人々の暮らしはわかりやすく、なぜ、日本は戦争にと突き進んでいったのか国民の大きな犠牲の心理がすごくよかったです。沖縄の人々の痛みが分かります。
31	日本文教出版 小学社会 5 現在、輸入に頼って、ウクライナとロシアの戦争により、たちまち小麦などが不足する状態になり、日本は農業国なのに減反を進めている、これから先食糧不足になることは目に見えている。
32	社会科六年生の教科書について。 ・東京書籍は二冊に分かれていて。(政治国際編と歴史編)一冊分が軽く、子供達にとって持ち運びが楽になり、良いと感じた。 ・憲法について平和主義はどここの教科書も扱っているが11条、9条、41条、43条と別枠に入れて見やすくしている(教育出版)がわかりやすい。 ・日中戦争と南京事件について。日本が満州を侵略し、中国各地で多くの住民の命を奪った加害性が東京書籍では薄められている。 P131には(日本人が)南京で大量殺りくを行った主語が省かれている。
33	・社会の教科書のみを教育出版・東京書籍・日本文教の三社で比較しながら見ました。 ① 領土問題: 日本政府の方針を徹底して記述されている領土問題を小5社会科単元で取り扱うのは、問題があるのではないのでしょうか。日本政府の方針のみを記述して、相手国の主張は紹介されていないので、10、11歳の児童にとっては一方的に反感、偏見を募らせる恐れが強いし、解決を目指す将来の世代に偏見を植え付けるべきではないと思います。 ② 自衛隊: 自衛隊の主な役割として防災と国の防衛として教育出版では憲法論争の両論があることを紹介しているのはいいと思った。
34	社会科教科書 教育出版のものは「あたらしい憲法のはなし」を、大きく取り扱っており良いと思いました。逆に東京書籍のは、小さくしか載せていませんでした。

35	教育出版 6年 社会 P231 沖縄のアメリカ軍基地 基地の縮小や県外への移設を求める運動が続いている。 なぜアメリカの基地が残るのか、その意味を子供たちにわかるように記述してほしい。 アメリカには、日本の基地はありません。また、日本にあるアメリカの基地には、日本では法律の適用がなくアメリカから来る飛行機も人もパスポートもいらず勝手に入国、出国できる。こんなことがあることを知らせるべきです。
36	教育出版 5年 社会 ・P16～ 日本の国土はどこまで 不法占拠されていると記述されているが、相手国はどう思っているのか 両国を記述して、どうしたらあゆみ寄れるのか。どう解決して行くのか、両国の主張を比較し、考えるのがよいではないか。
37	東京書籍の新しい社会6 政治国際編では、自衛隊を救命救出活動。P19、P49とし、P99では平和維持活動としていて、日常の訓練の様子(戦車や銃を扱うなど)がないので、勘違いを与えたいと思います。
38	教育出版 6年 原発についての記載なし。津波で転居したという記載はあるが、政府が原発回帰に転換したこと。汚染水の海洋処理等教えるべきことはあるはず。
39	社会 東京書籍 新しい社会 6 歴史編 原爆ドームの扱い なぜ、中口との戦争やアメリカとの戦争の前にドームの記事があるのか。戦争の結果としての原爆投下であり、投下したアメリカの非人道性はなし。 東日本大震災の津波被害はあるが、原発についてはない。 汚染水を日本海に流すなど問題も多し、原発回帰にかじをきった事など6年生に教えるべき憲法9条の取り扱いが少ない。前文もない。
40	① 教育出版の小六社会 「オリンピック」について。多額の開催費の問題集愛の問題を知らせずに美化するのはいいかが。 ② 教育出版、日本文教出版、東京出版、3社ともに。北方、竹島尖閣など領土問題は、日本の主張だけでなく、相手国の言い分、それに対して日本がどういった外交を行ってきたのかを載せないと対立をあおるだけになってしまう。 ③ 東京書籍の小六社会、P19「私の中の平和主義。」そして日本国憲法9条を紹介するのは当然であるが、そこに被災地支援の自衛隊の写真を掲載する、平和と自衛隊をセットで扱うべきではない。 ④ 教育出版小六社会P216沖縄戦での集団自決の際に、自衛隊が何を日本人にしたのか、その事実がない。 ⑤ 小六社会、教育出版、日本文教出版、東京書籍、共通して「君が代」には、日本の繁栄と平和が願われているとありますが、まったくの誤り、君が代は戦前、政府が天皇の治める時代がいつまで続くようにという歌だということで国民に押し付けたものです。ごまかさず教えること、そして今の憲法は「主権在民」をきめています。「『国民が主人公』の歌を作ろう」と教えるべきです。
41	今政府によって日本が、憲法に明記されていることを無視して、再び戦争する国へと変えられようとしている。現実の中で子供たちに憲法の大切さ、戦争の悲惨さを正しく伝える事が最優先されるべきだと考えます。この点において教育出版社の6年生社会は、きちんとその役割を果たしていると思います。
42	社会は災害、環境、日本国憲法が印象に残りますが、今の課題からすると、国際的な人権保障、原発、気候危機を、もっと深く取り上げて欲しい。憲法はもちろん身近にあるものとして投票する権利、主権者教育へ指導力も問題と思う。憲法の天皇の位置づけ、歴史的掘り下げがいずれも不足していると思う。
43	教育出版 5年 社会科には領土問題について「平和的解決に向けて粘り強く努力を続けていく必要」と平和的解決の大切さを言っているところがいいと思います。

44	教育出版の社会五年には北九州の公害克服についてまとめた記述があり、いいと思います。 P237
45	社会の本は、オリンピックを導入から憲法の話へと進められていました。基本的人権の中に障害者差別法(私にはめあたらしい)P23 自衛隊の役割が3点ポイント書(かれている)。写真は戦車にもみえる。「薬の通信販売と厚生労働省」の枠組みは何を意見するのでしょうか。P27。 P31の税金(企業)については説明はないですね。歴史のところでは「新しい憲法の話」は大切な記載だと思います。
46	東京書籍P19平和を守るのは憲法9条があったから、他国と戦争することがなかったのだから、自衛隊が日本の平和を守っていただけではない。安全、自然災害が自衛隊の役目はあると思うが、一緒にかかれていることが正しくない。
47	5年社会科の領土問題の記述を三社見くらべてみました。東京書籍は、「東シナ海にある尖閣諸島も日本固有の領土です。……日本が有効に支配しており、領土問題は存在しません。」という記述です。(P14)いくら文科省より「政治の見解を書くように」との制約があるにせよ、文言があまりに不適切です。小5の子どもに指導する言葉ではありません。日本文教も同様です。よりましな記述は教育出版です。「課題の平和的な解決に向けて粘り強く努力を続けていく必要があります。」(P17)
48	教育出版 5年 領土 P17 最後に平和的な解決に向けて粘り強く努力を続ける必要がある はいと思う。 相手国の主張も教えた方が一方的知識は対立感情にならないか？ 教育出版 P10 6年 日本国憲法オリンピックパラリンピック平和の祭典はいいが、オリンピックの抱える問題もあるので、美化したところだけを教えるのは今後の課題に記載すべきでは？ 教育出版 P21 下段 憲法でのさまざまな権利をもっと詳しく身近なものとして記載してほしい。義務を果たすことが第1のように受け取られる。QRコードが記載されているが、授業でどれだけ活用されているためのものなののでしょうか？
49	教育出版の教科書は実際の人の写真が入った話が多くてわかりやすいと思う
50	社会6年 領土問題…歴史に基づいて(併合した→侵略した)書いて欲しい。(東京書籍) ・日本国憲法…オリンピックは平和の祭典とされているが、現在は開催にかかわって利益などが問題視されている。 憲法は暮らしにとって必要というところから入ってほしい。(教育出版) ・平和主義9条…核兵器のない世界を目指すとして記されているが、その具体的な取り組み方法などがわからない。(教育出版)(東京書籍) ・自衛隊の記述があるが、戦車などの写真ではなく、災害救助の写真を使ってほしい。(教育出版) ・自衛隊…日本の平和と安全を守るために仕事をしていると記されているが、国際平和のために外交の重要性なども記してほしい。(日本文教出版) ・QRコード読み取りが各所に出ているが、実際の授業でどう言うふうに対処するのか疑問。
51	・新しい社会 6 歴史編 P144 戦後の日本に新しい憲法ができて、民主主義による国を目指していることが書かれている。もっと憲法の内容を学習の教材にしてほしいです。 P138 P139。沖縄戦や原爆投下のことなどが少し詳しく載せて欲しいです。 ・なぜ戦争をするようになるのか？戦争をしないようにするためにはどうしたらいいのかなど載せて欲しいです。 ・現代のことなどを載せて欲しいです。 ・P55。原発がどのような影響を与えるのか、今後はどうなるのかなどを載せて欲しい。(世界の動きをあわせて)

52	社会の教科書を見ました。紙の質によるとと思いますが、重たすぎるんじゃないかと思いました。戦争のことは被害だけでなく、日本の加害についてももう少し入れてもらいたいです。(ヨーロッパのように)憲法問題でも憲法は誰が守り、発展させていくものなのかを守られているのかを考えることが大切です。食糧問題も、日本の自給率をきちんとし、今後どうしたらよいか考えてもらいたいです。
53	社会の歴史編で、戦争に関する関わる記述は、東京書籍では比較的詳しく、正しく理解されさせていました。写真や引用する資料も、ある程度分かりやすいものとなっています。教育出版の社会での戦争に関する記述で、果たして戦争の責任はどうなるのかなどの記述がありません。 日本文教出版など三社とも日本国憲法についての説明や引用はそれぞれですが、今の政治を見て行くと、子供たちの理解とは矛盾するものとなっています。それぞれの教科書を見てあらためて、教える側の先生たちのご苦労が想像できます。
54	社会科 6年歴史一現代の所で日本文教、教育出版は、憲法の話、その説明がしっかりしている。東京書籍は歴史全体支配と文化を中心に書いている。庶民の動きが少ない。日文は教科を読む子供にとって読みやすい感じがした。東京書籍は地図を重視しているが、もう少し見やすくなった方がいい。全体、現在の、日本の地図に択捉島が入っているが、どうしてか。私は日文がいいと思った。
55	社会科 ・全体的に教育出版がよいと思いました。 ・韓国統合や南京事件など、東京書籍は日本軍の加害についてあいまいにしているのでは。
56	社会 海を漂流して、砂浜に打ち上げられるプラスチックごみを題材にした記事を紹介。「プラスチックごみ」について子どもたちにも知らせ、これからの地球を守るため、大人も子どもも知らないといけない大きな問題である点から感心しました。(日本文教出版)
57	東京書籍の新しい社会六歴史編のP152、2011年の東日本大震災の内容が津波の被害があったことだけを取り上げ、原発事故のことは何も書かれていないのは事実が伝えられていない。
58	歴史の教科書について 今からの時代を生きていく、つくっていく子ども達に「真実」を教えること。それがまず大切なのではないのでしょうか。今の日本の政治の動きに忖度して都合のよい内容しか記載しないのは間違っていると、私は思います。「事実」(日本がしたこと、されたこと)を知った上で、どう考え行動するのか。そこが、子ども達の学びではないでしょう。まずは、大人が「事実」と向き合い、子ども達に背中を見せてほしいと願っています。
59	小学校社会 日本文教出版 小6 歴史分野に入る前に憲法日本の政治制度が学べ、配置が良いと思いました。グローバルな世界観を身につけるためにもまずは自国の政治の仕組み、何よりも日本の国を支える基本理念憲法についてしっかり学ぶ必要があると思います。なぜならば、日本国憲法は全人類の幸せになる権利をもたらしているものだからです。そのような学習に結びつく教科書を選定していただきたい。
60	小学六年生の社会で非核三原則を取り上げている教科書が一社しかないのはいかがなものかきちんと教えるべきである。

61	東京書籍 新しい社会 5上 食料自給率の話があり、調べる課題として挙げている。いいと思う。 6政国 自衛隊の災害対応があるが、本来的業務ではない。これが自衛隊の主たる仕事と勘違いされている。問題。 6歴史 日清日露戦争の日本の実情が書かれていない。問題。 教育出版 社6 非核三原則を述べている。いいこと。 社5 地産地消述べている。いいこと。 自由社 新しい公民「安全保障について」 憲法や過去の日本の歴史を抜きに過去への反省もなく述べている。問題。 新しい歴史 「琉球処分」「アイヌ」について これは当時からの日本政府の一方的な見方と思える。客観的な、また、沖縄やアイヌの人からの見方がない。問題。
62	「公民」や「歴史」の教科書は政府の決定で書きかえられていますが歴史学や過去のおおやけの資料、市民が残した文章などで根拠ある教科書が必要です。あえて教科書を挙げのなら「学び舎」の歴史がよくかけています。
63	歴史を教える上で近代社会を教える時間(ページ数)があまりにも少ないのではないか。今を生きる子供達が、昔を知ることは大事だと思うが、今という時を教えることは重要だと思う。
64	教育出版 小学社会6 は、歴史と政治、国際編が一冊にまとめられ重たい。しかし、日本国憲法について学ぶ時でも、歴史と関連付けながら学ぶ場合等もあるのでむしろ教科書としては一冊にまとまっている方が、また、利用されている写真、図、絵などが随所にわかりやすく配置され、見やすい。表紙の裏には車椅子で学習している児童の姿もあり、共生社会や国際化も意識されている。学習するとき何を学ぼうとするのかははっきり示され児童にとって利用しやすい教科書になっている。
65	東京書籍 新しい社会P14「尖閣諸島ー中国が自国の領土と主張していますが、日本が有効に支配しており、領土問題は存在しません。」とありますが、わかりにくい記述です。文章が矛盾しているように思います。
66	日常生活の中でメディアを通して目にするものがある写真等が多く使われており、分かりやすい説明になっている。さらにより学習を深め進めていく上でのステップになればと思います。 写真等が鮮明で引きつけやすい。 戦争を扱った頃では子どもたちを主体にした写真の使用でより切実に感じられるものになっているのではないか。
67	日本文教出版の「小学社会2」には、戦争放棄について吹き出しでコメントされているところが分かりやすく良いと思う。 東京書籍の「新しい社会6」では、P18で平和主義について述べられているが、自衛隊の役割は重要と、二つをセットにして扱っている点が問題だと感じる。 教育出版の教科書はオリンピックを憲法学習の入り口にしているが、オリンピックの抱える問題を隠し美化している点がおかしいと思う。

68	南京事件についての記載 教育出版は、P207小さい文字であるが、虐殺の主体が日本軍であることを明記しているところが良い。 日本文教出版はP201日本軍はと主体をはっきり書いているところが良い。 東京書籍はP131殺害した主体を曖昧にしている。そこは正しく書いて欲しい。
69	社会科 ・日文は章毎にカラーを決め、本文にもカラーで色分けしてテーマがわかりやすくしてあった。 ・日文6年沖縄戦は日本軍と住民の関係が書かれていない。日本軍によって殺されたり死に追いやられた人々もいた記述も必要。 ・五年生の「情報社会に生きる」の章では、新聞社の例が読売、産経と右寄りの新聞社に取材してかかれているのが気になった。 ・地震は取り扱っても原発事故を扱っていないのが、現実を理解し次の世代を育てるためには抜け落ちていると思う。
70	東京書籍 P132 前後の戦争のページ 日本の加害責任がゆるいです。 「新しい戦前」言葉が生まれる今、小学六年は充分理解できます。しっかり説明されているものにしてください。
71	日本文教出版 社会6年生 索引一核、原爆、非核三原則という文字がありません。日本が今の時代、この文字のない教科書では、子供たちに大切なことは伝わらないです。
72	日本文教出版P217 変更後 →外国との争いを絶対に戦争によって解決しないことを憲法第9条に定めています。 変更前のせていたもの(削除) 「核兵器をもたない つくらない もち込ませない」という非核三原則を宣言しています。今日の改定で非核三原則を削除しました。じわじわと政府の軍事力の拡大、核兵器容認の方向に沿って教科書が変わりつつあります。
73	日本文教 三年、四年 写真図が多く取り入れられ説明がわかりやすい。しかし、三年生の子供には少し細かすぎる。多くの県が取り上げられ日本各地の様子がよくわかります。 伝統文化 取り上げられる偉人が多すぎる。まるで道德のようです。
74	①教育出版・社会科6年生：基本的人権の説明がていねいで、憲法11条を示していると思いました。また、義務を権利と結びつけていなくてよかったと思います。日本文教出版と東京書籍が権利と義務をセットにしていることは、憲法の理念に反していて正しくないと思います。 ②自衛隊について：教育出版と日本文教出版は「憲法違反にあたらない、憲法違反である」の両論を併記していますが、東京書籍はまったく触れておらず平和を守っているとしている。災害救助を強調し本来の任務を曖昧にしている子どもたちに真実を教えていない。 ③国際社会の中の日本：教育出版はアジアへの加害の歴史を記述していて、真摯に諸外国と友情や信頼を築く大切さが伝わってきます。しかし、日本文教出版と東京書籍は領土問題での政府の主張を大きく示し近隣諸国との緊張関係を強調していて、平和的外交関係を形成する大切さが、子どもたちに形成されないことが心配です。

算数	市民の意見
1	全体的に特に一年生は、この内容を理解できるのか、進め方のスピード等もありますが、家庭でのフォローもはっきりないと難しいのではと思いました。
2	算数の教科書会社3社拝見いたしました。(学校図書G 東京書籍T 啓林館K で表します。) まず一年生ですが、挿絵が人形で優しいのはスタートしてすぐの児童には良いです。(T)他の2つはペラッとした絵でした。ノートの使いかたをはじめに書いていますが、全学年通じてTとGでは、見本が、大きくわかりやすいです。Kは1/2の大きさで見にくい。1年に戻ります。初めて字や数字、現実とは違う子が多いかもしれませんが、一応初めての子もいるので、数字を書く「ます」がKは、小さく書きにくい。他は、大きくていい。ただKとTとも「すたあとぶっく」を使って入門には楽しいと思います。3年は、上においてはじめに復習としてかけ算九九表をもっていきたいことはGは良い。その後、ノートの使いかたでいいです。抵抗ある子には安心感が出てきます。Tの「マイノート」というノートの使いかたは見本として素敵です。大きくて分かりやすい。また、3年のかけ算の筆算のコーナーでは、3位数×1位数が終わったところで「やったー。できるようになった。」という充実感を持たせることができる。Tは、子どものやる気を育てます。一方で GとKは筆算ができたと思ったとたん、失望に変わる子が出てきます。1単位時間の暗算が入るからです。Tのように、後々の学習に持って来るといいと思う。六年のTの卒業旅行コーナーは面白い。(クイズがあり、世界の筆算のやり方あり)Kの人物紹介はありきたりで面白くなかった。以上です。
3	算数の教科書。どこの教科書も色鮮やかですね。 (1年生) 東京書籍は教科書というよりドリルのようです。百均で売られているのによく似ています。教科書は見やすかったです。ブロックを使ってのやり方は子供も分かりやすいのでは。
4	算数の教科書 色がきれい。 (一年生)教育出版 10までの数のページが、多くよくわかると思います。 本が重いのが気になります。
5	1年生の算数で、啓林館は一の位、十の位の理解が難しいと感じた。学校図書と大日本図書は、十の位は別の部屋として位取りが理解しやすい。百の位(学校図書P51)(大日本図書P102)も視覚的に理解しやすい。位がスムーズに理解できることは、1年生の数の入門にとっても大切だと思います。 また、教育出版以外が1年生の算数を2分冊しているのは、子供もランドセルの重さを和らげるのに大変ありがたいと思います。
6	大日本図書は、小学校一年生(算数)でブロックを使って5のまとまり、10のまとまりを考えさせて数式にする考え方を取り入れ筆算へつながるようにしている気がするが、とうとうに数直線が入ってきたりしている。子供は混乱するのではと感じた。啓林館はブロックを形式上使って見せているだけで、子供に何を定着させたいかわからない。難しいと思う。
7	東京書籍の算数の教科書は背表紙に学年ごとに一年「みつけようさんすう」二年「考えるっておもしろい！」三～五年「考えたことがつながるね」六年「数学ヘジャンプ」と書かれていて、算数の楽しさを子どもたちが日々感じる事ができる気がして良いと思う。
8	東京書籍の算数の一年の教科書に使われているブロックは、全て同じ色で他の情報が印刷されていないので、数の入門期のブロックとして子供達にとって分かりやすいと思います。赤や青の丸が付いているとそこに目がいってしまう子供もいるので。

理科	市民の意見
1	写真なども多く分写真なども多く分かりやすいと思いました。

生活	市民の意見
1	生活科は写真がとてもインパクトがあり効果的な東京書籍「新しい生活」がいいです。北九州の科学館の写真もあって良かったです。大きい判型は低学年に効果的。三村図書の図鑑もいい。
2	大日本図書「たのしいせいかつ」上下とても個性を大切にしているようです。カラーで見やすい内容です。世界に目を向けていて最後を締めくくっていて好感をもてました。
3	学校図書「みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ(上下)」字が小さくて読みづらかった。教科書は重いです。
4	生活の教科書で、食事の約束で例として挙げているのが右ききだけなので、左ききの例も載せてもどうか。

音楽	市民の意見
1	「君が代」は天皇主権の歌であり戦争のシンボルとなった歌である平和を願う歌であるとの解説は誤り。「君が代」を子どもたちに教えるのなら、歌詞の意味と歴史的に果たしてきた役割をごまかさず隠さずに教えなければならない。
2	音楽 教育文芸社、教育出版の両方に ・悦びの歌 ・漕げよマイケル ・we wish your merry Christmas ・クリスマスソングを歌おう 等々 キリスト教の曲が採用されてます。クリスマスを楽しむ人が多くいても、逆に嫌悪を感じる人もいます。これらの歌を実際に授業で流しう歌わせるのであれば、私の家族にとっては苦痛の時間でしかありません。 クリスマスはキリスト教の最大の聖日であり、誰もが楽しむものと言った安易な考えを即刻やめていただき対応をご検討願います。

図工	市民の意見
1	図画工作の教科書は、日本文教出版と開隆堂の2社だけのようですが、他の出版社からは候補がないのでしょうか？正直、あまり違いがなく感じました。児童が楽しそうに作品作りに取り組んでいる写真がふんだんに使われており、作ることを楽しんでほしいという意図は伝わります。一方でそれらの写真が多すぎて、実際にどんな作品を作ったら良いかややわかりにくく感じました。極端に字が少ないパートもあり、作例や手順がもっとあってもいいのではと感じました。

家庭	市民の意見
1	東京書籍 P8 手の洗い方が丁寧に写真で紹介し 衛生・安全面で工夫されている。 P9 食物アレルギーもくわしい。P18お茶の種類や文化を大事にしている。 一方、開隆堂はP143 巻末に手洗いがあり軽い扱いでどうかと思う。P6、7 家庭科室のイラストも窓を開けるなどの換気したイラストでない。最近実習での歓喜の事件があるので親として心配。
2	本が重たいですね！ 印刷を鮮明にすると重たくなりますよね！ 男の子のおふろそうじがあるので、トイレ掃除をお願いします。
3	家庭科 東京書籍「私の生活大発見」 家族が父、母、弟、祖父、祖母例に出されているか。 いろいろな家族がいるのでふさわしくないと思う。
4	伝統料理 開隆堂は、取り上げすぎている。 東京書籍は、少しだけなのでよい。 ごはんのみそ汁 東京書籍は、「稲からごはんの変化」「みその原料と種類」が、わかりやすい。
5	開隆堂 私たちの家庭科 5, 6は、家庭の仕事、調理、裁縫、片付け等でのモデルが写真や絵によって分かりやすく提示され、この学年の子供に見やすく使いやすいと思われる。特に28Pに片付いていない部屋を写真で示し、道具の整理の仕方を手順を踏まえて、丁寧に絵や写真で示しながら実践的な学習ができる教科書と考えられる。

保健	市民の意見
1	大日本 3、4年 P21 手洗いの仕方が丁寧。とてもよい。 大修 3、4年 P9 下関出身の道下選手があり子供に身近で良い。 P18 手洗いがよい。
2	学研 新みんなの保健5、6年 「病原体」「抵抗力」「環境」「生活のしかた」 上記の起こり方を教える上記の言葉があるが、6、5年生にとって 難しい語句や内容だと思 う。興味のある子供と全くそうでない子供がいると思うので。 しかし、新しい語句を知ろうと思ったら知れる工夫がいろいろあって大人が読んでも勉強 になることが多くあった。 5、6年になると、心肺蘇生やAEDネットトラブルが載っていて小学生である程度知識をも つのが良いと思いました。 病気の予防1、2は、とても難しいし、興味がわくか、大事なことが理解できないのではな いかと思った。 SDGsって何？のところでは、今なぜ世界でこの運動が必要で喫緊の課題なのかをよくわ かるように記述するべきでは？ 光文書院 小学保健5、6年
3	光文書院の保健は、SDGsのことがのっていて、いいと思いました。
4	ジェンダー平等について、3、4年 生け花をする男子やトラックの運転手のイラストなど、 自分らしく生きることはとても大切なこと。(日本文教社)
5	保健は、性の違い(高学年や中学生に続くように)LGBT等を含めて教えていける低学年 の教科書づくりをしてほしいしそのような教科書になっていれればと思う。
6	小学校4年で学習する保健「体の発達」についてはジェンダーの概念が根強く、個人差は あるかも、「誰でもこのような変化がある」と記述されている。しかし、本当にそうでしょう か。そして、異性愛に向かうことが、あたかも普通であるかのような記述も気になります。 今世界はSOGIという多様性の考え方が先行しています。教育も性教育を再度見直すべ きだと考えます。

英語	市民の意見
1	以前小学校の教師をしていました。外国語の教科書に興味があつて来ました。現在北九州市で採用されている One World Smiles は ワークシートの数も多く活動が重視されていてとてもいいと感じました。 また「書く」ことについても、直線の文字、曲線の文字、1階建ての小文字、2階建て、地下1階の小文字など、分類して段階を追った構成で無理なく学習できると思いました。
2	英語教科書拝見しました。サイズが大きすぎて子供の負担になります。ほかの教科とサイズが違うのは気になります。まとめにくい。また分厚すぎるのも気になります。付録みたいなものは必要ですか。タブレットをもっと使わせるべきです。子供の集中力があちこちに行きそうです。ワードブックなどつける必要はなく子どもに単語帳を作らせるべきです。私たちの頃はそうでした。
3	学習塾で英語を教えていたことがあります。日本地図や世界地図の資料があると子供達が興味を持ってくれるのでよいと思う。
4	外国語を大学で学んでいたが、小中連携を図るものがある教科書が良いと思う。サイズが大きい。子供達にとって重いのでは？ 学校の授業で学ばなかったページがあったと覚えているので、教材が制限されている会社のものがないと思う。
5	教科書がとても重たいなと思って最初に思いました。5、6年で習う単語の多さにびっくりしました。スペルで書くことも教え、発音文法も会話の中に入っていて、小学生にここまで教えているんだとまたびっくりでした。コミュニケーション能力の育成、目的と書いていましたが自己評価(どこまでできたか)小学生には、いらないのではないのか？この教科書を見た保護者は親では教えられないので、英語のレッスン塾にと思われる人が多いのでは？中学生になって英語が難しく嫌いというお子さんがいます。小学校で習ってきたから、中学校ではもっと先を教えられ、だんだんついていけない子どもが出てきます。ぜひ教材の中身を考えてほしい。
6	英語の教科書で単語がすごい増えているようですが小学校で増やす必要はないのではないのでしょうか。英語に親しむぐらいにして欲しいです。
7	ONEWORLD Smiles(教育出版)英語5、6は、導入部の構成に無理がなく児童にとってなじみやすいと考えられる。英語の文字(アルファベット)や文章の活字が比較的大きめで見やすい。

道徳	市民の意見
1	道徳の教科になっていることに反対した上で光村図書の次の教材はとてもいいと思います。 1 1年から6年までのシリーズ
2	道徳が教科になっていることに反対します。小学生に生き方国のあり方などを押し付けることになることを心配します。 日本文教出版の教科書について 1 一年生の教材「かぼちゃのつる」は 自分勝手には厳罰が与えられると脅すと同時に、人それぞれの性質 生き方 を認めようとしていないようで 一年生には 適切な教材とは言えません。 2 人権平和教材としては 三年「一番うれしいこと」四年「かわいそうなぞう」五年「母さんの歌」はとってもいいと思います。引き続き使用されることを望みます。
3	光村図書の道徳を読ませていただきましたが、いろいろな面(自分について 相手とのかわり 社会とのかわり 命 自然との関わり)とバランスの取れた自己や他の事例、人物、物語が取り上げられいい印象を持ちました。 子どもたちが、グループで話し合い。より気づきを得る機会につながられたらと思います。豊かで広い自由なこの価値感を高めることが道徳の意義と思います。これが教科になったことは、何故なのか。本来教科にして評価するものではないと考えます。
4	現在北九州市は、日本文教出版を使っておられるとのことと 読ませていただきました 三年生では、やなせたかしさんの アンパンマンが ご自身の戦争体験からだとなり、平和に対しての体験が語られているのはとても良いなと感じました。四年生の 太平洋戦争中のぞうの話も、五年生の 広島原爆のことも 貴重な歴史の証言として 子どもたちに語っていただきたいとの気持ちを持ちました。 道徳を 教科にすることは、また 国家の恣意的な教育につながっていくのではないかと危惧する所があり 本来のあり方ではないと思います。
5	今回道徳教科本の検定が学習指導要領「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」で不適切との検定意見がついて修正した例が13件もあるとのことでした。前回は2件であり今後ますます多くなっていく事、またそれが各出版社へのプレッシャーになっていかないかということが、心配です。子どもたちにとっても、自然体であるものに愛国心の強要がされていくのではないかと不安に思います。スポンジのような子どもの心に、大人の恣意が影をおとしていかないよう教科書に政治的介入をしないようにと願います。
6	< 教育出版 > お辞儀の角度まで小学校一年生に強制するとは・・・ 礼儀にこだわり過ぎることで、自分の気持ちを素直に述べる気持ちを抑えることにはなりませんか。“カタチ”にこだわるより人はみな平等であり子どもであっても行けんの 表明をしっかりとできるような環境づくりこそ大切だと思います。
7	道徳の教科化 そのものに反対します。内心の自由を保障された憲法のもと 道徳の教科による 子供の心に対するしめつけは、やるべきこととは 思えません。人の心をしることは誰にもできないのです。
8	福岡県北九州市にゆかりのある中村哲さんを扱っている作品は生き方を学ぶことで 国際人さらにはSDGsへとつながると思いました。(東京書籍6年 P182「さばくを緑の農地にー」)、日本文教出版のトルネード P124「藤田哲也」も すてがたいいい作品です。ただ、五年で 広島原爆を扱っているのは発達段階ではよい。
9	教育出版 道徳1年 座った姿勢 男女の手の位置の違いの意図は？ 道徳2年 職員室の出方 一礼は不必要 光村図書 道徳3年 ありがとうの気持ちを込めて 自衛隊が軍隊の面もあることが欠如 教育出版 オリンピックパラリンピックから憲法を学ぶことへつなげている⇒ 疑問 コラム 憲法改正の論議 国民投票が意識づけられる 戦争と人々の暮らし 沖縄はアメリカ軍に追い詰められて集団死⇒ 日本軍の関与に触れていない。

10	全出版社に「道徳生きる力」の中で「かぼちゃのつる」をたとえ、共生、がまん等をねらいにしているようですが、かぼちゃと人間は違います。かぼちゃは伸びるものです。人間は想い、価値観、人と関わりなど人の意見を聞いたりして判断するものです。そして、自由に自分に責任をもち決めるかぼちゃとは違います。例えが悪いです。
11	Gakken 新みんなの道徳①～⑥ 私の年代からすれば道徳は生活の場から言えば“しつけ”という狭い範囲からスタートしている。したがって当然当たり前という内容として受け取られるが、“教科書”となると広められるのできれいごと感が強く感じられる。子供一人一人の生活の中に取り込んだ道徳は広い社会の、あるいは村単位の問題であろう。あまりにも軽い感がある。授業としてはやむを得ないか？この軽さが子どもの重い学校生活のスタートにならないように導いていくべきだと思われた。
12	「道徳」とは何ですか。 教科としてわざわざ時間を割くものでしょうか。日常の生活の中で身につくものでは、「あさがお」光村図書については生き物を大切に育てることが学べることはいいかな。 「世界人権宣言」改めて読んでみた。とてもわかりやすく平和が一番。 教科書がとても重たい。
13	教育出版「小学 道徳 6」巻末の資料に「世界人権宣言」のっているのはとてもいいことだと思います。ぜひ取り上げて欲しい。
14	「道徳」が教科としてあり、学習の結果が評価の対象になるというのは基本的人権の「内心の自由」に反するものです。この教科を廃止してほしい。
15	教育出版「小学 道徳 1」で「かぼちゃのつる」は最後が残酷で車にひかれてちぎれたつるを見ると、戦争空襲で手足のちぎれた遺体の話を思い出しました。この教材は不適切です。採用しないでください。
16	東京書籍「新しい道徳」 子どもたちに道徳の教科書が必要なしです。特にかぼちゃのつるは子どもたちの自由な心のありようを制限させるものです。みんなで話し合ったりすることが大切です。六年生の教科書は、達人の話ばかりで子どもたちが追い込まれていくように思います。もっと自由に多様性が認められる学校にしていくために、教科書の内容を変えてほしい。
17	学研6年の道徳で マザーテレサの紹介がありました。マザーテレサのされてきた仕事は子どもたちに知ってもらいたいと思うのでとてもいいと思いました。
18	道徳の教科書(1年生用)にはすべて「かぼちゃのツル」の話が載っていました。自分勝手な行動はいいことではないですが、かぼちゃのツルは自然に伸びていくものなのでなんだか例えば、自分の中でスッキリしませんでした。
19	光村図書「どうとく1」 「かぼちゃのつる」がとても厭です。特に、最後、車にひかれてつるが切れていたいよう！と鳴くところが厭です。小学一年生にこんな話を採用しているのですか。
20	道徳の内容はおしつけの例が多くある。多様性とか個性とかがもっと大事にされることが望ましい。
21	道徳の教科書を見せていただきました。従来のものには個人の主張や意見を控えて、集団や公共の利益を優先すべきだ。自分の欲求を声高に唱えるのはみっともないといった感じのエピソードがよく見受けられましたが、今年のものには見られなくなったように思います。少数意見を考慮して最善の方法を選ぶのが民主主義だと思うので、そこは歓迎です。しかし、道徳を教科にして評価をつけるということは、狭い視野で正誤を判断することにつながります。社会のルールと道徳観念を混合して評価することは思想を画一化し、そこから少しでもはみ出す人物を安易に断罪することにつながるのではないかと危惧します。

22	道徳の教科書を見て、そもそもいろんな意見があり、考え方があってよい。それを教科にして成績をつけることで押しつけになると思います。手品師の話や項目これぞ日本など、物語も作者の思いとかけ離れていることにもなります。
23	光村図書、3年 道徳 ・P157 「ありがとうの気持ちを込めて」の中に自衛隊が記載されていますが、東日本大震災のような事態が発生すると出勤命令が出ます。 自衛隊員が悪いのではありませんが、自衛隊の任務について別途記述が必要ではないでしょうか。
24	・道徳の本ほとんど読みました。本の内容は心に響きなるほどと思いましたが、子どもたちが理解できない箇所もありますが、お互いの話し合いで深め、理解して行くでしょう。しかし、今もいじめにあって学校に行かない行けない子供たちを知っています。道徳がどのように役立ち、どのような指導が行われているのでしょうか？少し疑問に思う。
25	道徳が導入された時、「かぼちゃのつる」はとても問題になりました。今回は6者全てになっています。子どものマナーを教える時に、植物の生育のことを例えるのはあまりに無理があると思います。かぼちゃのつるが、伸びるのはつる性の植物の特性です。まきつくのがあるとどこまでもいきます。こういう例えは良くない。 もっと言えば、道徳は子どもの心を画一的にしまい、都合のよい人間にするのではないだろうか。道徳の本を見たら切ない息苦しい。
26	杉原千畝についての取り上げ方 × 光村「五十五年目の恩返し」 …杉原中年の勇気ある行動よりユダヤ人の感謝の気持ちを取り上げて考えるようになっているのは良くないと思う。 ○ 光文「6千人の命を救った決断」 …決まりを破ってまで何千人ものユダヤ人の命を救った。勇気と決断について記述してあり、良いと思う。
27	「花さき山」を道徳の教科書に載せることはおかしい。文学を大事にしてほしい。
28	そもそも道徳を評価の対象にすべきではないと考えます。他の教科についてはどこまでできたかという評価を付けることは可能ですが、道徳は何をもってそれを判断するのでしょうか。評価しなければならない先生方の労苦は大変負担ですし、評価する意味はまったくないと思います。道徳を評価する教材から外していただきたいです。
29	時間がなかったので、道徳の教科書のみ閲覧しました。どの出版社も「かぼちゃのつる」を「わがまま」をテーマにした教材として取り上げていましたが、何か理由があるのでしょうか。他のお話でもよかったのではないのでしょうか。 6年生でSNSについて取り扱うのは、必要なことだと思います。 ※ 東京書籍の各学年にむけてのメッセージがいいですね。
30	道徳も一通りみましたが、内容は豊かに盛り込まれているとは思いましたが、どのように評価しているのか関心があります。
31	小学校の道徳は全体的にいい内容の題材が占める割合が多くなっていると思います。これは教科化が始まった数年前から今日までの間に学校現場や研究者、保護者、市民からさまざまな意見や指摘があり、教材が淘汰された結果と見ることができます。しかしながら、道徳が教科として盤石であると考えことは違うと思います。道徳には学問的基盤がなく、時の状況により盛り込まれる内容が変わります。善悪が反転することさへ歴史を振り返ると、多くあります。時代状況に忖度した価値を子供たちに押し付ける役目を道徳は担うのです。道徳が教科化されたことの問題は忘れず、問い続けなければなりません。

32	日本文教出版の道徳教科書4年生用に「かわいそうなぞう」が載っています。この話は戦争がもたらす悲惨をしみじみと、いろんな角度から感じさせ、考えさせてくれるたいへん優れた題材です。他の出版社には「かわいそうなぞう」はありません。その意味で、文教出版を押ししたいと思います。 ※下記は参考までに。出版社の方に伝わったら嬉しいです。挿絵の象の絵は変えたほうが良いと思います。「この2頭の象はいつも可愛い目をじっと見はった心の優しい像でした。」を描かれています。挿絵の象は目をむき出しにしている、かわいなく子ども達にとって親しみが持ちににくい。改訂するときは絵を変えて欲しいです。
33	・東京書籍—新しい道徳。(1～6年生) 人に対する思いやりなど、最近の家庭では個人主義になりがちな面が丁寧に書かれている。QRコードがその都度のせられている必要があるのかどうかと思いました。
34	道徳の教科書5年生を見ました(教育出版)こんなにもたくさんのことが網羅されていて、これを一年間でやれるのかと驚きました。5年生の「わたしとあなたの「ふつう」はちがう」と「百の診療所よりも一本の用水路を」かつ「今を」伝えていていいと思いました。大人の一般的な常識を述べるより、子どもたちの自由な発想を大切にしたいと思います。 教育出版は単元ごとに「しっかり考えられた」「新しく気づいたことがあった。」「大切にしたいことがわかった。」と分類して考えるようになっていますが、子どもの自由な感性を大切にするほうが自己評価をさせるよりも大切だと思います。
35	だいぶ前に「かぼちゃのつる」を一年生の道徳の教科書で見た時、大きな違和感を持ちました。かぼちゃに限らず、つるが伸びる方向には理由があるのに、「あつちがダメ。」「こつちがダメ。」という言い方は合わないからです。「わがママを言って他を困らせるのはいけない」ということを学ばせるのに、かぼちゃを出すのはいけないと思う。植物の行動には理由があるし、人間の行動にも理由があるのです。この擬人化は間違っています。わがママを諭すためには、みんなでの話し合いこそ大切です。本人も周りも納得してこそ学びが大切だと思います。他の文は(①～⑪)よいのに⑧の「かぼちゃのつる」だけはおかしいのです。(光村)驚いたことに「かぼちゃのつる」は、他の出版社のものに必ず出てきます。どうしてでしょうか？児童心理学者や教育心理学者に意見を聞きたいものです。
36	道徳の本を見てみました。(一年生) どちらの出版社も工夫をしていることは感じられました。子どもたちと共に、話し合う場、考え合うという場が絶対に必要な教科であり、また、一つの意見にまとめてしまうのではなく、子どもたち一人一人がいろいろな思いを出せる授業になるといいなと思いました。
37	道徳は光村図書は社会との関わりなどすべてにおいて自分を置いておいて他人のためにのみ思いを行おうとする心を植え付けようとしているとしか思えない。
38	光村出版 道徳 3年 「ありがとうの気持ちを込めて」 自衛隊の活躍を見て児童が感謝の気持ちを込めて大きな紙に言葉をかきあげた。それを見た自衛隊員、警察官などが、感謝した。とあるが少し大げさな表現だと思う。確かに昼夜の活動で多くの人々が助けられた事だと思う。しかし、十年以上経った今もお避難して地元に帰れない、バッシングを受け続けている人々もいることなども紹介してほしい。自衛隊員は戦争になれば真っ先に戦うことなども少し記述されたい。
39	どの教科書も写真などが挿入され、読みやすくわかりやすく作られています。 道徳は教科書で教える必要はありません。動物はそれぞれの親や手段の振る舞いを見て学んでいます。現在、政治家とりわけトップの総理が国会の場などで公然と嘘をつく世の中です。子どもに「嘘をつくな」と教えられる大人がいるのでしょうか。
40	道徳の教育出版1、2年の資料の中に、お辞儀の角度や職員室の出入りの仕方などがのっていたが、普段の生活の中で自然に教えていきたいと思う一つの形を押し付けるのに疑問を感じた。

41	光村図書 道徳 1 の中に108ページは、約束やきまりについて考える内容だが、その決まりがなぜ設定されているのかなどの理由を飛び越えて、「きまりを守るとどんないいことがありますか。」と問うている。様々な価値観のある学校できまりの理由を抜かして、守るべき方向にもっていくのは自主的に考えて、いろいろな面から総合的に考えられる子どもを育てる点において問題があると思われる。
42	光村図書 道徳 一年 みんな上手(P16)は女性が料理上手、男性は修理上手と父と母お描き、家庭内で女性が料理をする傾向を示し、ジェンダーの観点から問題があると思われる。提示された教材の中に給食当番の子が全員に配るように配慮して上手に配ったという例がついているが、むしろうまく配れず足りなくなった時にみんなが少しずつ減らしてくれたなど、失敗した本人を周りの人が助けてクラスが和やかになるなど、全体の中での少しの優しさや気遣いが学級を居心地良くするなどの例に変えるべきである。
43	道徳 教育出版 小学道徳 3では、63ページにいじめについて、「こうしたいじめはどうしたらなくなるんでしょう」と提起している。しかし、たった一ページであり59ページ⑬仲間だから 54ページ⑫悪いのは私じゃない と関連付けるにしても乱暴な扱い方である。63ページの構成はいじめられる人の背景が、いじめる人の要因などに全く触れず、言葉と絵だけで提示されたら子供の想像力と内省心は育まれないと思う。
44	教育出版 しょうがくどうとく① では、150ページから「みにつけよう マナー」を提示している。学習中の姿勢は、マナーの問題というよりも学習を効果的に進める上で合理的と考えられるもので礼儀マナーで教えることには非常に違和感がある。また、151ページにはお辞儀の例が示されているが、これは日本での話であって国際化の進む現代日本においてはいろいろな各国の初対面でのマナーをいくつか提示してお辞儀の仕方よりも相手を尊重する意思を大切にすべき問題である。道徳が形式的な礼儀やマナーの使いかたを示しているのは、昔の曲がらない障害者や視点の定まらない人を差別することへつながりかねず採択するべきではない。
45	東京書籍 道徳 2年の「世界の民族衣装」日本は着物だけではなくアイヌ、琉球の衣装もあるので載せるべき。
46	教育出版の道徳 1年生の例、お辞儀の角度や座った男女の違いを押し付けている。また、2年の職員室の出入りの仕方は形を押し付けていると思う。
47	日本の伝統文化として取り上げているのが、正月料理、地域の祭、和楽器などですが、現代の生活様式や家庭環境の違いなどによって程遠いものです。行事も家庭により画一的ではなく、それぞれに合った形で行われている。もっと子供たちに身近な物を取り上げて地域の良さや人々の温もりなど、日本の伝統として伝えてほしい。どの教科書会社も右へならえ的な内容が多く独自性に欠けると思った。(道徳教科書を見て)
48	道徳 毎時間自己評価を強いることは危険と思う。自分を見つめいろいろ悩んでいる子供を追い詰めていくことにつながりはしないか。教材で自分が考えたり決意したり迷ったりしたことがあるときには、記録しておくこともよいが、そうでない時には記録は必要ない。無理に書かせなければならないのは苦痛である。教師が評価するために書かせることは長続きしないと思う。
49	項目は、各々工夫され読みやすいものになっているが、道徳について自己評価しなければいけないことを疑問に思う。個人を尊重すれば生徒の多様な意見を取り上げいろいろな考えがあることを学びの場とするのが道徳ではないか。「ガンバレガンバレ」と叱咤激励し、鼓舞したような内容が多い。本を読んで各々の思いを語り会えることに重点を置いてほしい。道徳を教科に点数付けするのは今の時代にそぐわないと思う。
50	道徳 主に3、4年を拝見しました。6社の中で平和、人権について記載されていたのは、文教出版だけで世界がどこかしこで戦っている今、もっと世界の状況を考えさせるためにも、やはり、平和の大切さを伝える内容のものが欲しかったなと残念に思います。

51	ジェンダー 多様性 < 教育出版 > 男性も女性も 家事をしている < 日本文教 > 炊事洗濯をする人は女性！⇒ 役割固定をしています。 < 東京書籍 > 男性が洗濯 台所 性役割の固定についてはやめてほしいです。
52	道徳 マザーテレサのような宗教家の善行取り上げるのはおおいに問題があります。善行自体は素晴らしくても、その善行の発露は宗教心であることが多いからです。それを学習で取り上げることによってその宗教の広告となります。実際、彼女はカトリックの広告塔でした。それらに該当しないものを選んでほしいと思います。他者を助ける気持ちを育むのであれば有名人である必要はありません。
53	①戦前の教育、特に「終身」が子どもたちを戦争に駆り立てた反省から、戦後の教育では廃止されていたと理解しています。しかしながら近年になって復活し、しかも特別の教科「道徳」とされていることは、大いに問題があります。教育の本来の目的から外れて子どもたちを一定の思考に誘導し自由に自分の意見を持つことが涵養されにくい状況になっていると思います。道徳を教科にすることはいけません。 ②不適切な教材が今回の検定でも残っていて残念です。特に「かぼちゃのつる」には呆れます。植物の自然な発育を歪めて示していて非科学的であり、自分勝手な行動は厳しくとがめられると脅しています。また「しあわせの王子」は自己犠牲を賛美していますが、これは原作者の意図とは異なっていて、教科書として問題です。 ③他方で、人権関係の教材は適切なものが増えていると思います。教育出版の3年生「タンタンゴはパパふたり」はLGBTQを理解しやすいと思います。光村図書6年生「私には夢がある」は公民権運動への理解が進むと思います。